

第102期

## 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

証券コード 1860



P1 株主の皆様へ

P3 工事実績・受注工事のご紹介

P7 TOPICS

P19 財務情報

P21 株主様アンケート結果のご報告

### ごあいさつ



代表取締役社長

大谷清介

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第102期中間期(2024年4月1日～同年9月30日)の業績及び事業活動についてご報告申し上げます。

この度、2024年11月2日(土)に、2016年から計画を始動、2021年に着工をいたしました新本社ビル「TODA BUILDING」が無事に竣工・開業いたしました。当社は東京都京橋に社屋を設けた1898年から実に126年の歴史をこの地で積み上げてまいりました。京橋は古美術

商やギャラリーが多数集まり、美術館も備えたアートの街であります。当社はその特性を活かして、“新たな芸術・文化”を創出し、さらなる事業発展の礎としてまいります。

また、本年度は中期経営計画の最終年度にあたります。過年度を総括し計画の進捗を図りつつ、2025年度以降の新中期経営計画を策定してまいります。

今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内景気は、雇用及び所得環境が改善する中で、設備投資の持ち直しの動きが継続するなど回復基調となりました。

建設業界においては、官公庁工事の受注が減少しましたが、民間工事が製造業及び非製造業ともに増加し、全体として前年同中間期比を上回りました。一方、建設資材価格の高止まり、労務逼迫による建設コストの上昇などから、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社グループにおいては、2022年5月に「中期経営計画2024ローリングプラン」を公表し、建築、土木及び戦略的各基幹事業における顧客への提供価値の進化を進めるとともに、重点管理事業として、新本社ビル「TODA BUILDING」、海外事業及び浮体式洋上風力発電事業等の再エネ事業を掲げ、これらの事業へ成長投資を行い事業ポートフォリオの強化をしております。当中間連結会計期間においても中長期的成長を目指すため、トップマネジメントの積極的関与のもと継続して成長投資を推進しました。なお、成長投資を推進する一方でROE(自己資本利益率)8%以上を中長期的に確保するため、ROIC(投下資本利益率)5%以上を収益性の管理指標として設定するなど投資プロセスの強化にも取り組ん

でおります。

このような状況の中、当中間連結会計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

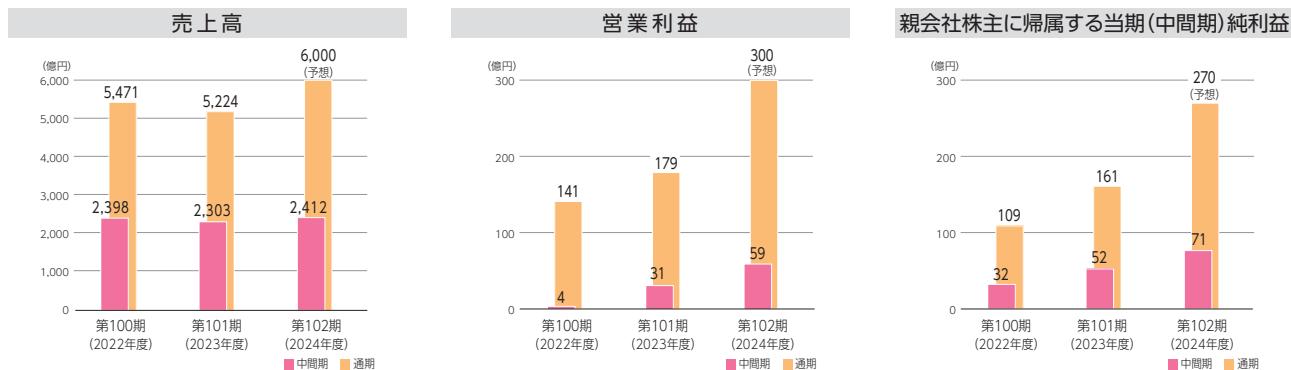
連結売上高については、当社の建築事業、土木事業の売上高が増加したことにより、2,412億円と前年同中間期比4.7%の増加となりました。

営業損益については、当社の建築事業、土木事業において工事の採算性が向上し、売上総利益が増加したため売上総利益は293億円と前年同中間期比24.3%の増加となりました。また、販売費及び一般管理費は人件費などが増加し234億円と前年同中間期比14.4%の増加となりましたが、営業利益は59億円と前年同中間期比87.7%の増加となりました。

経常損益については、保有する投資有価証券の受取配当金などを営業外収益に計上しましたが、78億円と前年同中間期比4.9%の減少となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益については、投資有価証券売却益などを特別利益に計上したことにより、71億円と前年同中間期比37.7%の増加となりました。

### ●財務ハイライト(連結)



# 工事实績・受注工事のご紹介

## 建築

### ▼第102期中間期の主な完成工事



発注者

舞洲開発特定目的会社

工事名称

(仮称)DPL大阪舞洲新築工事



発注者

(株)ジャパネットホールディングス  
(株)リージョナルクリエーション長崎

工事名称

長崎スタジアムシティプロジェクト(Ⅱ・Ⅲ工区)



発注者

(大)東京医科歯科大学(現(大)東京科学大学)

工事名称

東京医科歯科大学機能強化棟新営その他工事



発注者

泉大津市立病院

工事名称

(仮称)新泉大津市立病院整備事業



発注者

ラム特定目的会社

工事名称

ESR南港OS1データセンター新築工事

## ▼ 第102期中間期の主な受注工事

発注者	工事名称
(学)昭和大学	昭和大学鷺沼キャンパス整備工事
(株)千葉ヤクルト工場	新千葉工場建設工事
(株)牧野フライス製作所	株式会社牧野フライス製作所 富士吉田工場 4期工事
京都市	(総合評価)京都市中央卸売市場第一市場整備工事 ただし、新青果棟(仮称)第1期建築主体その他工事
(学)京都橘学園	京都橘大学新教室棟(仮称)整備事業

# 工事実績・受注工事のご紹介

土木

## ▼第102期中間期の主な完成工事



発注者

国土交通省関東地方整備局

工事名称

R3入間川右岸古谷樋管改築工事



発注者

国土交通省四国地方整備局

工事名称

令和2-5年度窪川佐賀道路平串トンネル工事



発注者

国土交通省近畿地方整備局

工事名称

大野油坂道路新長野トンネル野尻地区工事



発注者

西日本高速道路(株)

工事名称

令和3年度 東九州自動車道 香下トンネル工事



発注者

阿部建設(株)

工事名称

富谷市高屋敷西土地区画整理造成工事

## ▼ 第102期中間期の主な受注工事

発注者	工事名称
国土交通省関東地方整備局	R6霞ヶ浦導水第2機場新設工事
西日本高速道路(株)	近畿自動車道 長吉高架橋他2橋耐震補強工事
三田小山町西地区市街地再開発組合	三田小山町西地区第一種市街地再開発事業に伴う小山橋架替工事
豊明間米南部土地区画整理組合	豊明間米南部土地区画整理事業 令和6年度整地工事
環境省	令和6年度双葉町特定帰還居住区被災建物等解体撤去等及び除染等工事(その2)

## アートとビジネスが交錯する芸術文化の拠点 東京都中央区京橋に「TODA BUILDING」 2024年11月2日(土)開業

当社は、東京都中央区京橋一丁目で建設を進めていた超高層複合ビル「TODA BUILDING」(以下、当ビル)が、2024年9月30日(月)に竣工したことをお知らせいたします。これにより2016年から開発を進めていた「京橋一丁目東地区計画」が完了し、同施設を2024年11月2日(土)に開業いたしました。



TODA BUILDING外観



TODA BUILDING広場



オープニングセレモニー (Photo: Ryohei Tomita)

## 開発の背景とコンセプト

このたび開業した「TODA BUILDING」は、「京橋一丁目東地区計画」の当社街区における開発プロジェクトです。京橋の地で120年以上社業を営む当社が、本社建替えを機に、隣接街区(事業者:株式会社永坂産業、公益財団法人石橋財団)と共同して都市再生特別地区制度(以下、特区)を活用し、特区テーマを「まちに開かれた、芸術・文化拠点の形成」と「街区再編、防災力強化、環境負荷低減」として、それぞれが超高層複合用途ビルを建設する大規模開発です。

当ビルは「人と街をつなぐ」をコンセプトに、江戸期よりものづくりの文化が育まれ、今も「骨董通り」をはじめ多くの芸術資産が息づく京橋の地に、アートとビジネスが交錯する場所を創出します。オフィスの枠を超え、芸術文化の拠点として、ミュージアム、ホール&カンファレンス、ギャラリーコンプレックス、創作・交流ラウンジ、ギャラリー&カフェを設け、京橋の賑わいと文化的価値醸成に貢献します。

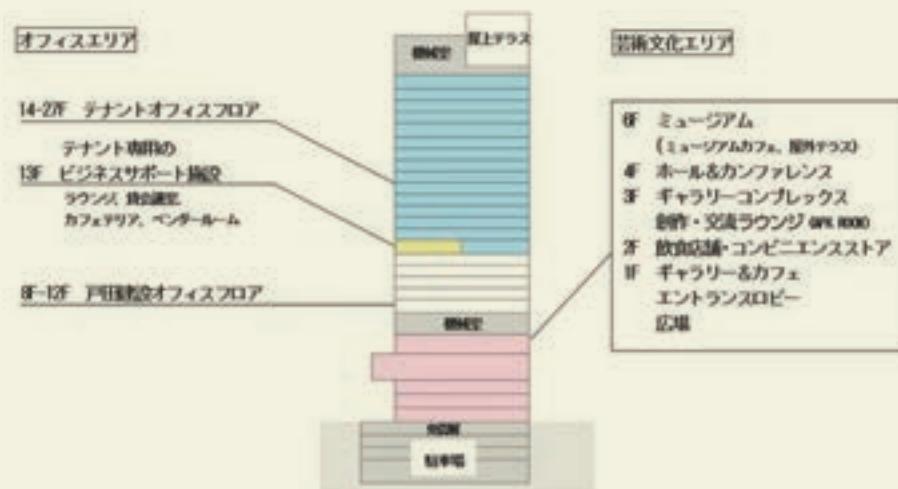
## 「芸術文化の拠点形成」

当ビルは、地下3階地上28階建ての超高層複合用途ビルです。8~27階をオフィスフロア、1~6階を芸術文化施設と商業施設で構成し、ビル共用部でのオフィスワーカーと芸術文化エリア利用者の交流を意図した計画となっています。また、にぎわいの骨格軸である中央通り側に広場を設けることで街に開かれたビルとし、アートへのアクセス性を高め、アートとビジネスの融合を生み、ビルユーザーへの「アート&ウェルネス」の提供を図ります。

## 「地域の防災力強化」

当ビルの建築面の特徴として、コアウォール免震構造を採用することで国内トップレベルの耐震性能を実現するとともに、中央通り側の広場の免震性を高め、災害時の帰宅困難者の一時滞在場所としての地域の防災対応力の強化を図っています。

また、事業継続性(BCP)、地域継続性(DCP)の取り組みとして、コジェネレーションシステムによる非常時の電力供給のほか、防災備蓄倉庫等を整備。主要設備は7階に配置し、万一の浸水リスクに備えます。



「TODA BUILDING」施設構成

## “新たな芸術・文化の拠点”を創出する 建物低層部 芸術文化エリア

芸術文化エリアを担う6Fにはアニメ、マンガ、音楽といったポップカルチャーや現代アート、デザインなど多彩な領域のクリエイションとの出会いが広がるミュージアム「CREATIVE MUSEUM TOKYO」が誕生。1Fにはアート空間でパンやコーヒーを楽しめるギャラリー&カフェ「Gallery & Bakery Tokyo 8分」がオープンしました。また、当社のアート事業「ART POWER KYOBASHI」のプログラムのひとつとしてビル共用部で展開するパブリックアートプログラムの名称とロゴが決定しました。

### (1) CREATIVE MUSEUM TOKYO



6FのCREATIVE MUSEUM TOKYO (略称:CMT)は、「作品」や「表現者」、さらにはそこに至る「プロセス」を大空間で体感できるミュージアムです。大空間の展示室ではアニメ、マンガ、音楽等のポップカルチャーや現代アート、デザインなどの展覧会を年間約4本開催します。ミュージアムショップと中央通りを望むテラスに隣接したミュージアムカフェでは、展覧会毎にオリジナルグッズや、オリジナルメニューを提供します。



エントランスの様子

### ■ CREATIVE MUSEUM TOKYO

開館時間: 10:00~20:00 (入場は19:30まで)

※展覧会により変更になる場合がございます。

※入場には別途チケットが必要です。

公式サイト: <https://www.creative-museum.tokyo/>

### ■ CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE

営業時間 11:00~22:00 (ラストオーダー 21:00)

※展覧会により変更になる場合がございます。

### (2) Gallery & Bakery Tokyo 8分



1FのGallery & Bakery Tokyo 8分は、「THE CITY BAKERY」と「ArtSticker」が運営するパンやコーヒーを買

うことの延長線上にアートの鑑賞をお楽しみいただけるスペースです。アートのために設計されたミュージアムを思わせる贅沢な空間にて、これからが楽しみなアーティストにスポットライトを当てます。展覧会で展示される作品も購入が可能です。

展覧会の詳細はこちらを御覧ください。

<https://artsticker.app>

### (3) 3F ギャラリーコンプレックス

3Fのギャラリーコンプレックスには、現代アートを代表する「タカ・イシイギャラリー 京橋」「小山登美夫ギャラリー 京橋」「KOSAKU KANECHIKA」「Yutaka Kikutake Gallery」のギャラリー4つが集結し、東京駅前エリアを現代アートの発信拠点へと変貌します。国内外の最先端のアートがオフィスビル内で鑑賞できるのも当ビルの魅力です。



3Fギャラリーコンプレックス

### (4) 1F・2F共用部 パブリックアートプログラム「APK PUBLIC」

# APK PUBLIC

パブリックアートプログラム「APK PUBLIC」のロゴマーク



1F エントランスロビー

当社のアート事業「ART POWER KYOBASHI」の一環として取り組むパブリックアートプログラムは、プログラム名称を「APK PUBLIC」とし、新進アーティストやキュレーターが都市の風景を担う大規模な作品発表の場として、ビル1・2F共用空間を活用した更新性のあるパブリックアートを展開するプログラムです。

第1弾となるAPK PUBLIC Vol.1は、国内外で活躍する飯田志保子氏をキュレーターに迎え「螺旋の可能性—無限のチャンスへ」をテーマに、小野澤峻氏、野田幸江氏、毛利悠子氏、持田敦子氏の4名のアーティストによる作品を2024年11月2日から2026年3月まで展示予定です。

### その他飲食店や商業店舗がオープン

「TODA BUILDING」ではオフィスワーカーや当ビルを訪れた人がご利用いただける飲食店をオープンいたします。飲食店「和食日和 おさけと 京橋」とコンビニエンスストアがグランドオープンとともに開業いたしました。その他の飲食店は2025年夏以降にオープン予定です。

## 戸田建設が入居するオフィスフロアでは スマートオフィスアプリの導入など 次世代のオフィス環境を提案

当社ではスマートオフィスアプリ「T-BuSS®」の開発や、バーチャルオフィスとの連携による新しい働き方に取り組んでいます。

当社が入居しているフロア「Toda Creative Lab」に導入する「T-BuSS®」は、ビル内の設備やサービスと連携したプラットフォームを活用し、社員へ便利なサービスを提供するスマートオフィス向けアプリです。ビル設備の操作から会議室での飲み物注文まで、様々なサービスを社員へ提供します。昨今の社会情勢の変化によってオフィスの在り方が多様化する中で、ソフトウェアでアップデートする快適で便利なオフィス環境を社員へ提供します。

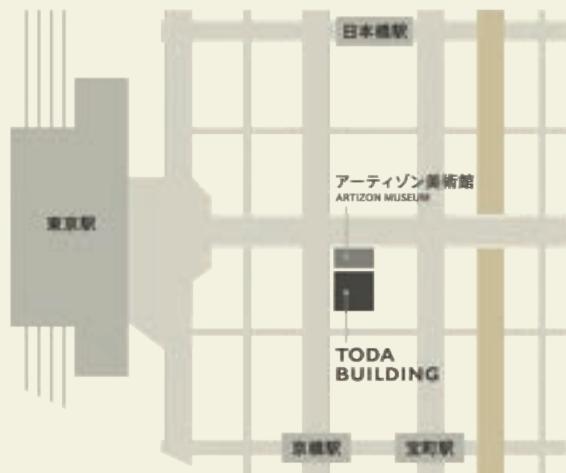
また「Toda Creative Lab」には、ハイブリッドな働き方を支援する取り組みとして、当社とoVice(株)(所在地:石川県七尾市、代表取締役CEO:ジョン・セーヒョン)共同で、デジタルツインバーチャルオフィスを構築します。各フロアを再現したバーチャルオフィスでは、社員のアバターが「T-BuSS®」の屋内位置情報と連携し、在席状況が反映されます。リモートワークの社員も同じバーチャルオフィス空間に「入社」することで、場所にとらわれないコミュニケーションをいつでも開始できます。

※T-BuSS®(ティーバス)とは、「Toda Building Smart System」の略称。  
詳細リリース:  
[https://www.toda.co.jp/news/2022/20220930\\_003116.html](https://www.toda.co.jp/news/2022/20220930_003116.html)

## 「TODA BUILDING」概要

所在地	東京都中央区京橋1-7-1(住居表示)
構造	地上:コアウォール免震構造(鉄筋コンクリート造・鉄骨造) 地下:鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地下3階・地上28階・塔屋1階
延床面積	約94,912㎡(約28,710坪)
建築主	戸田建設株式会社
設計・監理	戸田建設株式会社 一級建築士事務所
施工	戸田建設株式会社
竣工	2024年9月30日
グランドオープン	2024年11月2日
交通アクセス	JR「東京駅」八重洲中央口 徒歩7分 東京メトロ「日本橋駅」B1出口 徒歩5分 東京メトロ「京橋駅」6番・7番出口 徒歩3分
ホームページ	<a href="https://www.todabuilding.com/">https://www.todabuilding.com/</a>

## Access



## 京橋一丁目東地区 開発概要／京橋彩区エリアマネジメントについて

京橋一丁目東地区は、TODA BUILDING (事業者：戸田建設株式会社)と隣接するミュージアムタワー京橋(事業者：株式会社永坂産業、公益財団法人石橋財団)で構成される一都市計画二事業の大規模開発です。本街区は2016年3月に「芸術・文化の拠点形成」と「地域の防災力強化」を掲げた都市再生特別地区(特区)として都市計画決定されました。

戸田建設株式会社及び株式会社永坂産業は、街区名称を「京橋彩区」と名付け、2019年4月にエリアマネジメント活動を推進する「一般社団法人 京橋彩区エリアマネジメント」を設立し、“アートと文化が誰にも近い街”を目指し、芸術文化とまちづくりに貢献する活動に取り組んでいます。



街区全体イメージ  
(左:ミュージアムタワー京橋 右:TODA BUILDING)  
©株式会社日建設



## 戸田建設グループの歴史を体感できるミュージアムを創設



当ビルには、戸田建設グループのミュージアム「TODA CREATIVE LAB “TODAtte?(トダッテ)”」を創設しています。戸田建設グループのみならず建設業の過去・現在・未来の姿を、「見て、触って、体験して、」楽しく学習いただけるとともに、社会や皆様が抱える様々な課題を一緒に考え、解決する場として広く一般の方々にも公開する場です。一般公開は2025年3月の予定です。



「企業文化と継承」ゾーン



「未来を考える」ゾーンの「体験コーナー」

TODA CREATIVE LAB “TODAtte?(トダッテ)”  
ティザーサイト：<https://museum-todatte.toda.co.jp>

※一般公開については、2025年3月以降に予約受付を開始予定です。詳細につきましては当ミュージアムサイトにてご案内をいたします。

## アグリサイエンスバレー常総 “常総ONSEN&SAUNA『お湯むすび』”11月23日オープン 幅広い世代が滞在できる「天然温泉施設+サウナスパリゾート」

当社と当社グループの東和観光開発(株)(本社:山口県大島郡、社長:小林 岳志)、及び(株)SAKURA PIRATES(所在地:埼玉県さいたま市 代表取締役:酒寄 学)は、当社がPPP事業協力者として参画する「アグリサイエンスバレー常

総(茨城県常総市)」における温浴施設の名称を“常総ONSEN&SAUNA『お湯むすび』”と決定し、2024年11月23日(土)にオープンいたしました。



“常総ONSEN&SAUNA『お湯むすび』”施設外観パース

### 名称決定について

名称決定にあたっては、当施設が多くの方々へ愛される施設となり、アグリサイエンスバレー常総の魅力やにぎわいを増進させるため、2024年8月1日(木)～8月18日(日)の期間、名称募集を行い、715件のご応募をいただきました。いただいた名称の中から、名前に入れられた想いを踏まえ、当施設の命名委員会で協議し、名称を決定いたしました。

### 名称に込めた想い

「お湯」は温泉のお湯を表し、「むすび」は「むすびまち」と「蒸す(サウナ)」の両方の意味を持ちます。2023年春に命名された常総市の新しい町名「むすびまち」ともリンクさせた名称です。お湯につかり、かつ、サウナで身体を「蒸す」ことで、人々がつながり、心身が癒される場所というイメージを簡潔に表現したネーミングとなっております。また、Joso Onsen Sauna Oyumusubiで頭文字をつなげると「JOSO」になります。

## 施設概要

コンセプトは「田園の中のプチリゾートONSEN&SAUNA」。露天風呂はもちろん、敷地内で掘削した天然温泉に高濃度炭酸泉・高温サウナ・天然地下水の水風呂。さらには、裸浴室とは別に、サウナ好きも初心者も楽しめるサウナスパエリアがあります。

関東最大級のホール型サウナを含めサウナ室は合計8室(1室のみ貸切可能)をご用意。ウィスキング専用のサウナやアフグースやセルフウリュウも可能なサウナ、クールルーム、さらには、サウナ前後にゆっくり過ごせる外気浴テラスや室内リラックスルームも完備しています。

その他、サウナ飯やヘルシーメニューを中心としたレストラン、もみほぐしやエステ・あかすりのサービスもご用意しております。

2023年5月のまちびらきで開業した「TSUTAYA BOOKSTORE常総インターチェンジ」と連携することにより、アグリサイエンスバレー常総で推進する農業6次産業化のうち、多様なお客様が集う3次産業の場を拡充することで、常総市の活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に貢献してまいります。



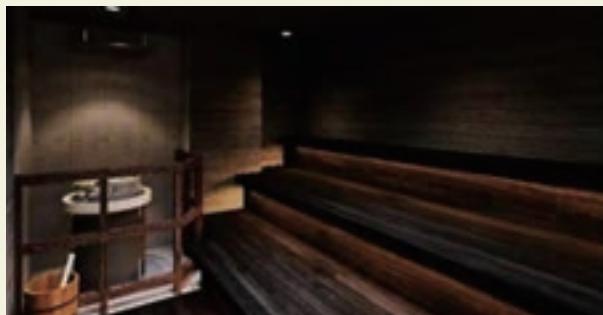
天然温泉露天風呂



レストラン



大型ホール型サウナ



高温サウナ

## 鉄骨工事自動化技術を実証施工

当社は、東京都中央区の超高層建築物の建設現場において「鉄骨工事自動化技術」を適用しました。

今回の実証施工では、当社が開発し実績のある「タワークレーン3次元自動誘導システム」、「吊荷旋回制御装置」、「仮ボルト不要接合法」、「鉄骨柱の自動計測・建入れ調整システム」に加え、新たに開発した「タワークレーン遠隔操作システム」や「ARマーカー」による測位技術、「ガチャントピンガイド™」を連携させ、鉄骨工事の省力化に幅広く有効であることを確認しました。



図「鉄骨工事自動化技術」のイメージ

### 開発の背景

従来の鉄骨工事には、以下の課題がありました。

- 専門技能を持つ鳶工やクレーンオペレーター(以下、オペレーター)が減少し、鉄骨工事作業員の確保が困難になりつつある。
- 鉄骨建方時、鳶工は高所で作業する必要があるため、墜落の危険性を伴う。
- オペレーターは、タワークレーン頂部の運転席まで毎日登り降りしなければならず、一度登ると一日中タワークレーン上に拘束されるため、負担が大きい。
- 夜間や雨天時におけるタワークレーンでの揚重作業では、目視による確認が難しく、作業の安全性が低下する。

これらの課題を解決するために、当社は鉄骨工事の自動化を目指し、幅広い「鉄骨工事自動化技術」の開発を進めてまいりました。

### 新たに開発した技術

今回の実証施工に向けて、以下の技術を新たに開発しました。

#### ①「タワークレーン遠隔操作システム」

専用の操縦席を用いて、離れた場所から遠隔でタワークレーンを操作できるシステムです。

#### ②「ARマーカー」による測位技術

タワークレーンで吊り上げた鉄骨部材の現在位置と、その部材の取り付け予定位置との誤差を自動で計測し、カメラ映像上に表示する技術です。誤差の計測をする際に「ARマーカー」を活用しています。

#### ③「ガチャントピンガイド™」

「仮ボルト不要接合法」を用いて鉄骨梁を仮固定する際に「仮ボルト不要接合法治具(ガチャントピン®)」の接合ピンを、所定の位置まで誘導するガイドです。

## 実証施工の内容

実証施工では、一連の鉄骨工事で各々の「鉄骨工事自動化技術」を適用し、その機能を確認しています。

①「タワークレーン3次元自動誘導システム」及び「タワークレーン遠隔操作システム」により、タワークレーンを自動及び遠隔で運転し、揚重作業の安全性の向上を図るとともに、両システムが実現場で運用できることを実証しました。(写真1・2)

②「吊荷旋回制御装置」により鉄骨部材の方向及び姿勢を制御することで、揚重作業の作業性と安全性を向上させました。(写真3)

③「ARマーカ―」による測位技術を用いて、鉄骨梁の取り付け位置に対する誤差を補正し、鉄骨梁の位置合わせ作業を省略することで、作業効率の向上を図りました。(写真4)

④「ガチャントピンガイド™」により、「仮ボルト不要接合治具(ガチャントピン®)」の接合ピンを所定の位置まで誘導し、鉄骨梁をスムーズに取り付けることで、作業の省力化を図りました。(写真5)

⑤「仮ボルト不要接合法」により、取り付け位置において鉄骨梁を簡易に仮固定することで、鉄骨梁取り付け作業を省力化し作業時間を短縮しました。(写真6)

⑥「鉄骨柱の自動計測・建入れ調整システム」により、鉄骨柱の建入れ調整作業を自動で行い、誤差3mm以内の高い精度で施工しました。(写真7)



写真1 鉄骨部材の揚重状況

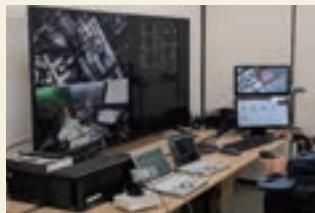


写真2 タワークレーン遠隔操作システムの運用状況



写真3 吊荷旋回制御装置



写真4 ARマーカ―



写真5 ガチャントピンガイド™



写真6 仮ボルト不要接合法



写真7 鉄骨柱の自動計測・建入れ調整システム

## 今後の展開

「鉄骨工事自動化技術」は幅広い鉄骨工事の省力化や安全性の向上を目的としたものですが、今後はPCa工事への適用拡大も視野に入れ、建設工事における自動化施工をさらに推進します。さらに「タワークレーン遠隔操作システム」については、オペレーターの育成用シミュレータとしての利用や、オフサイトに設けたオペレーションセンターから遠隔地のタワークレーンを一元的に操作する等、育成並びに労働環境の向上を目指してまいります。

## 国内トンネル初 現場製造バルクエマルジョン爆薬による発破を実現 トンネル現場の発破作業の安全性、効率性の向上へ

当社は、イーピーシージャパン(株)(本社:東京都港区、代表:パスカル・ラクーリ)、(株)サンライズ(本社:神奈川県横浜市、代表:松本 啓志)の協力を得て、日本のトンネル施工で初となる、現場で製造するサイトミキシング型バルクエマルジョン爆薬による発破を実現しました。

当該爆薬は専用の製造・装填機械にて爆発の危険性がない基材と発泡剤を現場で混合して製造するマヨネーズ状の爆薬です(図-1)。従来の発破作業では、工場で製造された紙巻包装円筒状の含水爆薬(図-1左下)を、トンネル掘削の最先端箇所(切羽)にあらかじめ穿孔した穴に、作業員が手作業にて本数単位(200g/本)で調整して装填していました。バルクエマルジョン爆薬はホースと長いノズルを用いて切羽から従来よりも離れた位置で、爆薬量を10g単位で調整して装填できます。そのため、発破作業の安全性、効率

性の向上が図れます。海外では20年以上前から導入、改良が進められており日本でも注目されていました。しかし、日本では火薬類取締法上、爆薬の製造工場と同様の許可が必要となるのが現場適用への大きなハードルとなっていました。

このたび、当社施工の新名神高速道路宇治田原トンネル東工事(発注者:西日本高速道路(株))において、難関資格である火薬類製造保安責任者の有資格者の配置等、火薬類取締法上の基準を満たし、トンネル現場では初めて製造許可を取得しました。そして、当該爆薬による発破の実現に至り、良好に岩盤を破碎できることを確認しました(写真1~3)。

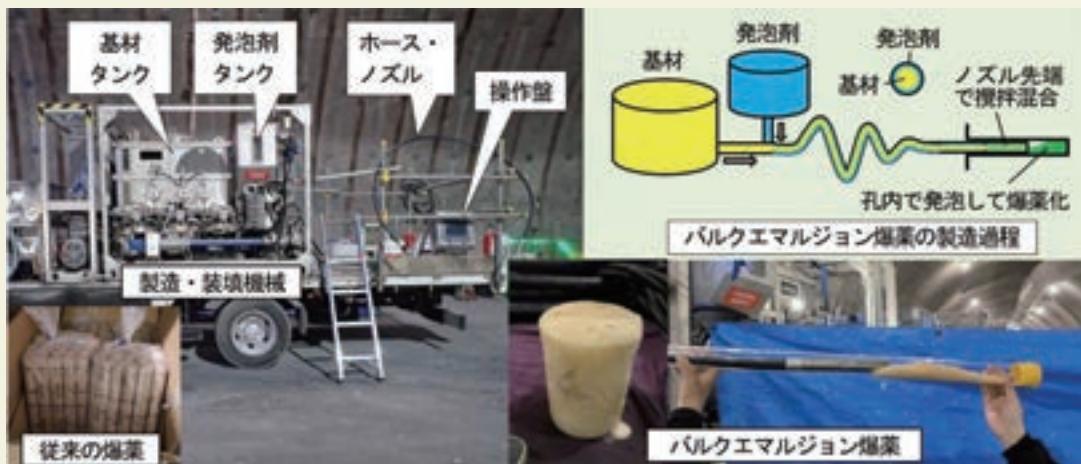


図-1



写真1 爆薬装填状況



写真2 爆薬装填完了



写真3 発破完了

## 導入の背景

山岳トンネルの施工では固い岩盤の掘削作業は発破で行うのが主流です。発破における爆薬の装填作業は、工場で製造された紙巻包装円筒状の含水爆薬を切羽まで運搬し、あらかじめ切羽に穿孔した穴に作業員が手作業で行うのが一般的ですが、以下の問題がありました。

- ①切羽の近傍で作業するため、掘削面の岩塊がはがれ落ちてきて被災する危険性がある。
- ②爆薬の取り扱いに注意が必要なため、安全性や生産性の向上につながる自動化機械等の開発が困難である。
- ③爆薬量の調整は1穴あたり4～6本程度と本数(200g/本)で管理されるため、細やかな調整ができない。
- ④装填後の爆薬と孔壁の間には空隙ができるため、爆発の威力を岩盤に効率的に伝えられない。

## 本技術の特長

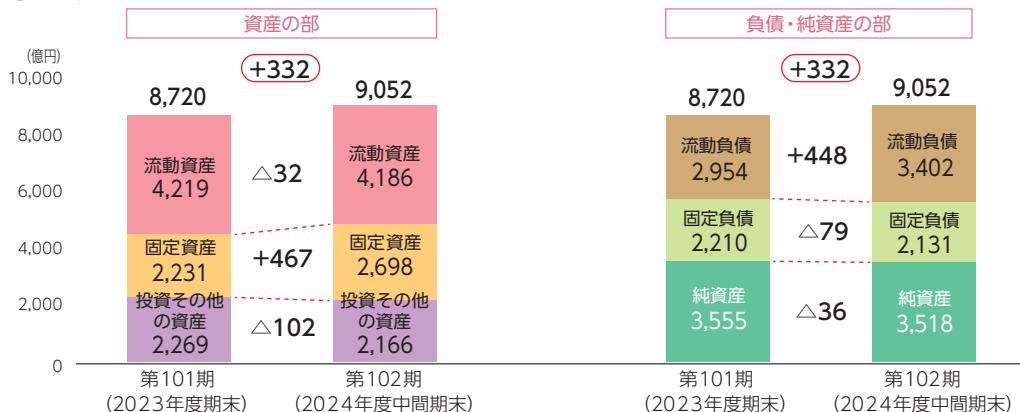
本技術は専用の製造・装填機械で基材と発泡剤をホースで送り、ホース先端に取付けたノズル内部で攪拌して爆薬を製造し、ホース先端から吐出して装填する技術です。本技術の特長は以下のとおりです。

- ①ホースと長いノズルを使用することにより、切羽から離れた場所から安全に装填することが可能になります。
- ②攪拌するまでは爆薬ではないため、爆発の危険性はないものとして取り扱えます。
- ③爆薬量の調整はタッチパネル操作にて10g単位で行えるため、爆発の威力を微調整できます。
- ④従来の紙巻包装の含水爆薬よりも孔内に密に装填することができ、爆発の威力を効率的に岩盤に伝えられるため、爆薬量を減らすことが可能になります。

## 今後の展望

当社は、山岳トンネル施工における一連の作業の遠隔化・自動化のシリーズ化に取り組んでいます。今後は本技術を用いて発破の遠隔化・自動化を推進していきます。

### 連結貸借対照表



#### 資産の部

当中間連結会計期間末の資産合計については、現金預金が327億円、建設仮勘定が303億円、投資有価証券が97億円減少しましたが、受取手形・完成工事未収入金等が122億円、その他の棚卸資産が116億円、建物・構築物が716億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して332億円増加の9,052億円(3.8%増)となりました。建物・構築物の増加は、主にTODA BUILDINGの完成によるものであります。

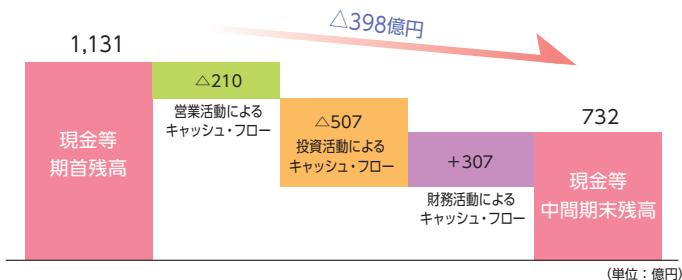
#### 負債の部

当中間連結会計期間末の負債合計については、支払手形・工事未払金等が100億円、繰延税金負債が35億円減少しましたが、未成工事受入金が124億円、コマース・ペーパーが400億円、長期借入金が50億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して369億円増加の5,534億円(7.1%増)となりました。

#### 純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産合計については、円安に伴う為替換算調整勘定が35億円増加しましたが、自己株式の取得により49億円、保有する投資有価証券に伴うその他有価証券評価差額金が95億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して36億円減少の3,518億円(1.0%減)となり、自己資本比率は37.6%となりました。

### 連結キャッシュ・フロー 2024年度中間期



#### 連結キャッシュ・フローの状況

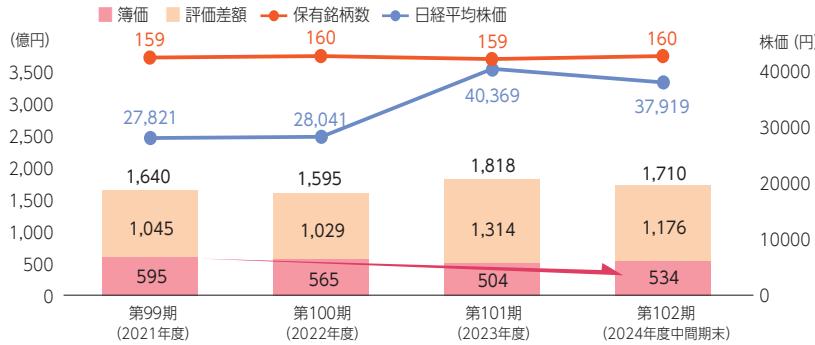
当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して398億円減少し、732億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、210億円の資金減少(前年同中間連結会計期間623億円の資金増加)となりました。税金等調整前中間純利益121億円、減価償却費29億円に加えて、未成工事受入金の増加により120億円の資金が増加しましたが、未成工事支出金の増加により23億円、仕入債務の減少により108億円、法人税等の支払により70億円、売上債権の増加により108億円の資金が減少したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、507億円の資金減少(前年同中間連結会計期間230億円の資金減少)となりました。投資有価証券の売却及び償還により56億円の資金が増加しましたが、有形固定資産の取得により430億円、投資有価証券の取得により55億円、貸付金の増加により5億円、子会社株式の取得により66億円の資金が減少したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、307億円の資金増加(前年同中間連結会計期間527億円の資金減少)となりました。配当金の支払により42億円、自己株式の取得により50億円の資金が減少しましたが、短期借入金の増加により22億円、コマース・ペーパーの増加により400億円、長期借入金の増加により65億円の資金が増加したことが主な要因です。

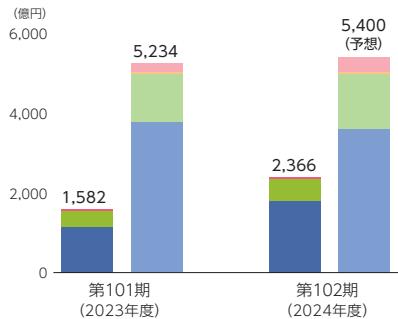
政策保有株式の推移(個別)



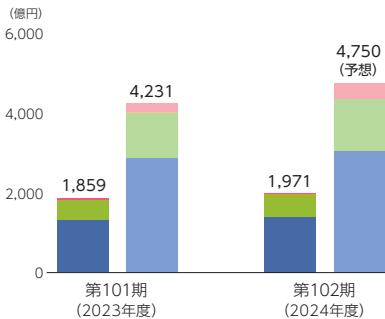
政策保有株式の売却実績

	売却銘柄数	売却価額
2021年度	12銘柄	45億円
2022年度	10銘柄	115億円
2023年度	14銘柄	166億円
<b>2024年度 中間期</b>	<b>9銘柄</b>	<b>56億円</b>

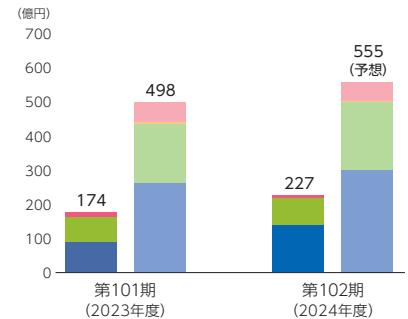
受注高(個別)



売上高(個別)



売上総利益(個別)



建設事業 国内建築：■中間期 ■通期  
国内土木：■中間期 ■通期  
海外：■中間期 ■通期

投資開発事業等：■中間期 ■通期

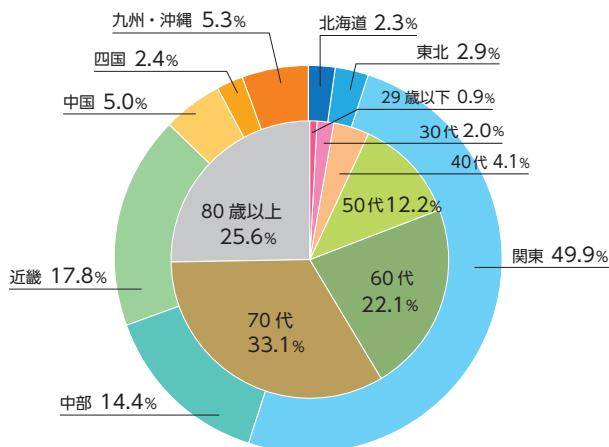
繰越工事・工事種別内訳(個別)



# 株主様アンケート結果のご報告

株主優待案内に同封いたしました株主様アンケートにつきまして、3,434名の株主様よりご回答をいただきました。ご協力を賜り、まことにありがとうございました。皆様からのお声の一部を掲載いたします。いただきましたご意見は、今後の経営やIR活動に活用させていただきます。

- 調査期間 2024年6月5日～6月24日
- 調査対象 1,000株以上保有株主 5,236名
- 回答者数 3,434名
- 回答率 65.6%



## 株主の皆様の声



Q

2024年秋に竣工するTODA BUILDINGを見学したい。

Q

現在どんな事業を行っているのか、今後予定している仕事などを知りたい。

A

当社ホームページの統合報告書2024をご覧ください。また、決算説明会資料や決算短信では該当期中における主な受注・完成・繰越工事を掲載しております。

統合報告書2024

<https://www.toda.co.jp/sustainability/report/>

決算説明会資料

<https://www.toda.co.jp/ir/explanation/>

決算短信・概況

<https://www.toda.co.jp/ir/results/>

A

TODA BUILDINGには建設業の過去・現在・未来の姿を見て、触って、体験していただける当社グループのミュージアム「TODAtte?」を設けております。2025年から一般公開の受付を開始予定となりますので、ぜひホームページをご確認ください。

「TODAtte?」

<https://museum-todatte.toda.co.jp/>



瀬戸内の多島美に心癒す  
美しく輝く上質な休日



### マリッサリゾート サザンセット周防大島

コンセプトは、「Marissa Retreat (マリッサリトリート)」  
あなたがあなたであるために、ゆったりと「何もしない時間」を  
大切に心ゆくまでお過ごしください。

山口県大島郡周防大島町大字平野1347-1  
お問合せ 0820-78-2121 (受付時間 9:00-18:00)



鴨川の四季を愛でる  
京の別邸



### リヴェルト京都鴨川

鴨川の四季を愛でる京の別邸鴨川に面して佇む  
日中限定の静かなプライベート空間。  
美しい景色に癒やされゆったりとお過ごしください。

京都府京都市上京区青龍町202  
お問合せ 075-251-2550 (受付時間 9:00-18:00)



## ■ 会社概要

### ● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

### 支店

- ・東京支店(東京都中央区)・首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋)
- ・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)

筑波技術研究所(つくば市)

### 子会社

- ・株式会社アペックエンジニアリング(埼玉)・戸田ソーラーエナジー深谷合同会社(東京)
- ・TGCゼネラルサービス株式会社(東京)・昭和建设株式会社(茨城)
- ・戸田道路株式会社(東京)・五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)
- ・戸田ビルパートナーズ株式会社(東京)・Toda America, Inc.(アメリカ)
- ・戸田ファイナンス株式会社(東京)・Thai Toda Corporation Ltd.(タイ)
- ・東和観光開発株式会社(山口)・Toda Vietnam Co., Ltd.(ベトナム)
- ・五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)・PT Toda Group Indonesia(インドネシア)
- ・オアシアウインドファームコンストラクション株式会社(東京)・Tobic Co., Ltd.(ベトナム)
- ・佐藤工業株式会社(福島)・Toda Senegal Société à Responsabilité Limitée Unipersonnelle(セネガル)
- ・TODA農房合同会社(東京)・PT Tatumulia Nusantara Indah(インドネシア)
- ・Toda Energia do Brazil Ltda.(ブラジル) 他

### ● 従業員の状況

従業員数 6,844名(連結) 4,420名(単体)

### ● 取締役及び監査役(2024年9月30日現在)

代表取締役会長	今井雅則	常勤監査役(社外)	百井俊次
代表取締役社長	大谷清介	常勤監査役	若林英実
取締役	山寄俊博	監査役(社外)	西山潤子
取締役(社外)	伊丹俊彦		
取締役(社外)	荒金久美		
取締役(社外)	室井雅博		

(注) 取締役伊丹俊彦氏、荒金久美氏、室井雅博氏及び監査役百井俊次氏、西山潤子氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じざるおそれのない独立役員であります。

## ■ 株式の状況

(2024年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 12,714名
- 大株主

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大一産殖株式会社		42,923	14.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		38,648	12.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口)		11,099	3.67
一般社団法人アリー		8,977	2.97
株式会社三菱UFJ銀行		6,970	2.30
戸田 博子		6,611	2.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001		5,981	1.98
戸田建設取引先持株会		5,619	1.86
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST		5,196	1.72
株式会社ヤクルト本社		4,955	1.64

(注) 1 上記のほか、当社所有の自己株式20,487千株(役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が所有する株式を含めていない)があります。

2 上記の所有株式数のうち日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び株式会社日本カストディ銀行については、信託業務に係る株式数を把握しておりません。

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当)9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
【同連絡先】	
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-711(通話料無料)	
【郵送先】	
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	<a href="https://www.toda.co.jp/">https://www.toda.co.jp/</a>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。	

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目7番1号  
TEL.(03)3535-1354  
<https://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。 環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。